

76億の目撃者たち

# 世界報道写真展 2019



環境の部 単写真1位 プレント・スタートン(南アフリカ、ゲッティイメージズ)  
ジンバブエのフンドゥンドゥ野生動物公園で、女性メンバーだけで構成される反密猟武装部隊「アカシंगा」の偽装・隠蔽対策訓練に参加するペトロネラ・チグムブラ(30)。

**滋賀** 9.23月・祝 - 10.5土  
会期中無休  
立命館大学びわこ・くさつキャンパス  
エポック立命21 **エポックホール**  
開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで)

**京都** 10.7月 - 10.31木  
休館日 10月13日(日)・15日(火)・20日(日)・23日(水)・27日(日)  
立命館大学衣笠キャンパス  
国際平和ミュージアム **中野記念ホール**  
開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで)

■参観料: 大人500円、中・高生300円、小学生200円 ■主催: 立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、世界報道写真財団 ■後援: オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、全日本写真連盟、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会、NHK京都放送局(衣笠キャンパス開催分)、KBS京都、滋賀県、大津市、草津市、滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、草津市教育委員会、NHK大津放送局(びわこ・くさつキャンパス開催分)、びわ湖放送株式会社 ■協賛: キヤノンマーケティングジャパン株式会社、ゲッティイメージズジャパン株式会社 ■協力: 特定非営利活動法人国境なき医師団日本  
■お問い合わせ: 立命館大学国際平和ミュージアム 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899 <https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/> 公式Twitter 国際平和ミュージアム(@kmwp\_PR)  
■公式サイト <http://www.asahi.com/event/wpph/> **世界報道写真展 2019** 公式Twitter 世界報道写真展 (@wppjapan)



# 世界報道写真展

2019

76億の目撃者たち

世界報道写真コンテストの受賞作を紹介する「世界報道写真展2019」。62回目を迎える今回のコンテストには、129の国と地域から4,738人のフォトグラファーが参加し、78,801点の応募がありました。

今年は、「現代社会の問題」、「一般ニュース」、「長期取材」、「自然」、「環境」、「スポーツ」、

「スポットニュース」、そして昨年の「人々」にかわり「ポートレート」の部の8部門において、25カ国43人が受賞しました。また新たに、複数の写真で様々な事象を表現した作品を評価する「世界報道写真ストーリー大賞」が設けられ、報道写真の表現が広がりを見せています。

「スポットニュース」の部では、ジョン・ムーアがメキシコとアメリカの国境で、母親の取り調べ中に泣き叫ぶホンジュラスの少女を捉えました。また「一般ニュース」の部では、サウジアラビアのカシヨギ記者が行方不明になった事件で、サウジの総領事館に押し寄せる報道陣の姿を写しています。ほかにも、シリアで続く内戦やコロンビア革命軍の元女性兵士の暮らし、オランダ領キュラソーのベニロフラミンゴを捉えた作品など、地球上で「いま」起きていることを伝える写真の数々を紹介します。



- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

- ① **世界報道写真大賞 スポットニュースの部 単写真1位**  
 ジョン・ムーア (アメリカ、ゲッティイメージス)  
 2018年6月12日、メキシコとの国境沿いにあるアメリカ・テキサス州マッカレンで、ホンジュラスからともに来た母親のサンドラ・サンチェスが国境監視員の取り調べを受けている間、泣き叫ぶヤネラ。
- ② **現代社会の問題の部 組写真2位**  
 カタリナ・マーティン・チコ (フランス/スペイン、バノス)  
 ヨルラディスは、コロンビア革命軍(FARC)に加わっていた間の5回に及ぶ墮胎を経て、6回目の妊娠を果たした。5回目の妊娠の時は、緩めの衣服を着て妊娠6か月になるまで指揮官に知られないようにしていたという。

- ③ **スポットニュースの部 組写真2位**  
 モハメド・バドラ (シリア、EPA通信)  
 2018年2月25日、毒ガス使用が疑われるシフォニエの村への攻撃で負傷し、治療を受ける人々。
- ④ **自然の部 単写真2位**  
 ヤスパー・ドゥースト (オランダ)  
 オランダ領キュラソーのFDOC(カリブ動物と教育財団)で、足の重度の障害を治すのに役立つ急ごしらえの靴下を履き、確認しているベニロフラミンゴ。

- ⑤ **スポーツの部 組写真2位**  
 マイケル・ハンク (チェコ)  
 チェコ共和国のパラアイスホッケー代表チームのキャプテンで、これまでパラリンピックに3大会出場しているズデニェク・サフラネクが、ジムで懸垂している。
- ⑥ **世界報道写真ストーリー大賞 スポットニュースの部 組写真1位**  
 ビーター・テン・ホーベン (オランダ/スウェーデン、アジャンス・ヴウ/シベリアン・アクト)  
 2018年10月30日メキシコ南部のタバナテペク郊外で、移民を載せるために停車したトラックに駆け寄る人々。途中までの乗車に代金を請求する運転手の中にはいたが、大半は支援の印として無償で乗せた。

ACCESS

滋賀

JR「南草津駅」より近江鉄道バス「立命館大学行き」または「立命館大学經由飛鳥(とびしま)グリーンヒル行き」にて「立命館大学」下車。

京都

JR・近鉄「京都駅」よりJRバス、市バス50にて「立命館大学前」下車、徒歩5分阪急電車「西院駅」より市バス205にて「わら天神前」下車、徒歩10分。  
 ※お車でのご来館はご遠慮ください。

TALK EVENT

**渋谷敦志氏 X 国境なき医師団**  
 ~人道危機の現場で、人々に寄り添うこと~  
 2019年 10月14日(月)・祝 14:30~15:30

■会場:立命館大学衣笠キャンパス(京都)  
 国際平和ミュージアム1階ロビー  
 ■予約不要 聴講無料(定員100名)

国際的な医療人道援助団体の国境なき医師団が、世界各地の現場取材を続けるフォトグラファー・渋谷敦志氏を迎え、海外派遣スタッフとともにスライド・トークを開催します。

主催:立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、国境なき医師団日本

※お問い合わせ:立命館大学国際平和ミュージアム TEL:075-465-8151